

令和7(2025)年2月6日

独立行政法人都市再生機構九州支社

国立大学法人九州工業大学



九州工業大学×UR九州支社 包括協定締結式の開催について

同時開催 リノベーション住戸完成内覧会(学生による住戸リノベーションコンペ2024)

国立大学法人九州工業大学(以下「九工大」)と独立行政法人都市再生機構九州支社(以下「UR九州支社」)は、令和3年度より、URの団地をフィールドに、学生の実践的な教育を行うとともに、学生の提案を取り入れた団地及び地域の魅力を高めていくプロジェクトを進めてまいりました。

今般、更なる連携協力活動を推進するべく、「連携協力に関する包括協定」を締結することとなりました。つきましては、令和7年2月21日に包括協定締結式及び令和6年度に取り組みました学生の提案によるリノベーション住戸の完成内覧会を開催しますことを、お知らせいたします。

包括協定締結式・リノベーション住戸完成内覧会

■日 時: 令和7年2月21日(金) 13:30~15:45 頃

■場 所: UR 都市機構 到津南団地 集会所 (北九州市小倉北区泉台3丁目3番)

時刻(予定)	内 容	
13:10~13:30	(受 付) ※集会所にお越しください。	
13:30~14:05	第 1 部	包括協定 締結式 九工大大学長 みたに やすのり 三谷 康範、UR九州支社長 ま せ しやういち 間瀬 昭一
14:05~14:10	(休憩・移動 等)	
14:10~15:15	第 2 部	新たな取り組み! 研究用ロボット デモンストレーション 学生の提案によるリノベーション住戸の完成内覧会
15:15~15:45	個別取材対応 等	

※取材対応: 15:15~15:45 に、学生および九工大、UR の個別取材時間を設けます。

※お申込み: 取材をご希望される方は、別紙「取材申込票」に必要事項をご記入いただき、2月18日(火)17 時までに FAX でお申し込みください。

※そ の 他: 当日は、各社腕章及び名刺をご持参ください。
現地には来場者用駐車場はございませんので、近隣のコインパーキングをご利用いただくか、公共交通機関をご利用の上、お越しいただきますようお願いいたします。

<本件に関するお問い合わせ先>

【UR都市機構】取材申込先

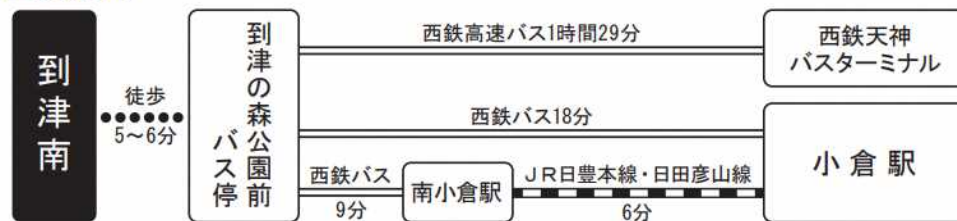
総務部 総務・法務課(報道担当)
TEL:092-722-1004
MAIL:y-iizuka@ur-net.go.jp
FAX:092-722-1019

【九州工業大学】

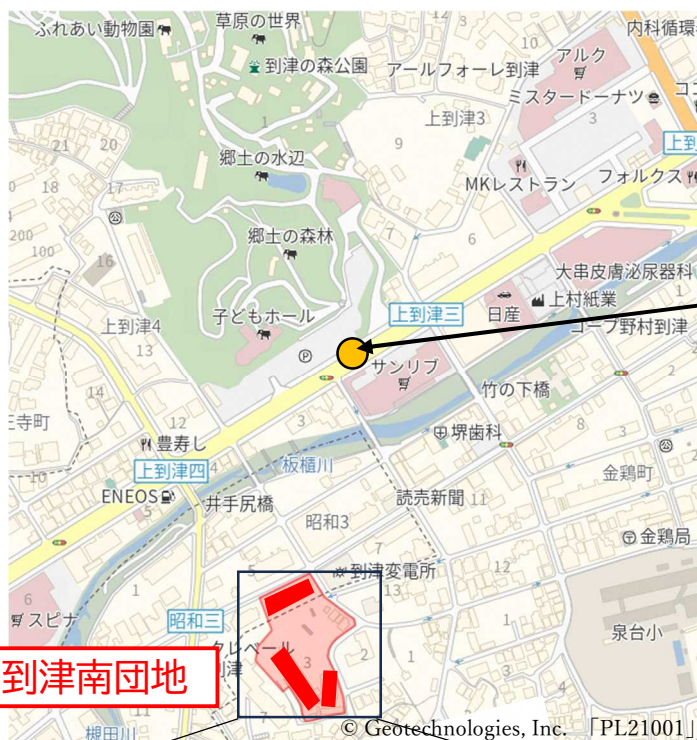
経営戦略室(広報・ブランディング担当)
TEL:093-884-3007
MAIL:pr-kouhou@jimu.kyutech.ac.jp
FAX:093-884-3015

【会場までのアクセス】

■交通図

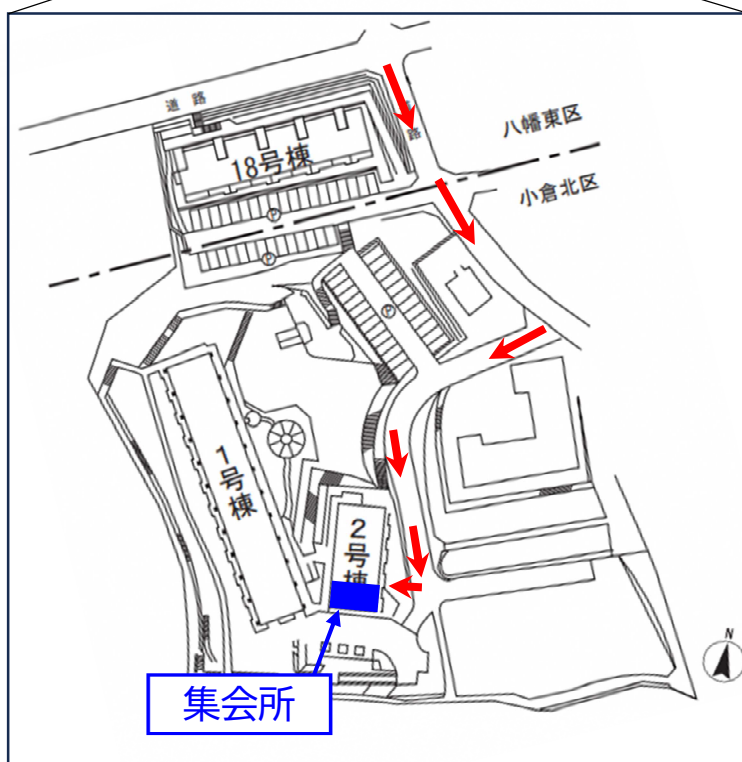


■団地周辺図



到津の森公園前バス停

到津南団地



集会所外観



【第1部】包括協定締結式

九工大と UR 九州支社は、更なる連携協力活動を推進するべく、「連携協力に関する包括協定」を締結することとしました。

【締結者】

- ・国立大学法人九州工業大学 学長
三谷 康範(みたに やすのり)
- ・独立行政法人都市再生機構九州支社 支社長
間瀬 昭一(ませ しょういち)



九州工業大学 学長 三谷康範 UR 九州支社 支社長 間瀬昭一

【第2部】新たな連携プロジェクトの発表 ・ 学生の提案によるリノベーション住戸の完成内覧会

(1) 新たな連携プロジェクトの発表

「人とロボットが共に暮らす未来をつくりたい。」

九工大大学院生命体工学研究科人間知能システム工学専攻 田向 権教授、同専攻 田中 悠一郎准教授、同大学院工学研究院建設社会工学研究系 石塚 直登助教の指導のもと、学生による家庭用サービスロボットの学術研究とUR九州支社との連携をスタートします。

田向教授及び田中准教授が指導する学生主体のロボット開発チーム Hibikino-Musashi@Home(以下、HMA)は、令和6年7月に行われた、家庭用ロボットの国際的な競技会 RoboCup @Home DSPL 優勝をはじめとし、これまでに6度の世界大会優勝の経験を誇ります。

本プロジェクトでは、HMA・建築デザイン研究室・UR 九州支社が連携し、これまで開発を積み重ねてきたロボットを実際の家庭環境や地域コミュニティのなかで動作させる際の課題を、ロボットと建築設計の両面から洗い出し、家庭用サービスロボットの社会実装に向けた技術開発を加速させることを目指します。



HMA チーム

(2) 学生の提案によるリノベーション住戸の完成内覧会

令和4年度につづき、2回目の実施となる住戸リノベーションコンペ企画を行いました。今年度は「UR到津南団地(北九州市小倉北区)」を題材に、学生から住戸のリノベーションプランの提案を募り、2回の選考を経て、令和6年9月に最優秀賞プランを決定しました。この度、最優秀プランを採用したリノベーション住戸が完成しましたので、内覧会を開催します。内覧会では、最優秀プランの受賞者及びUR職員から、リノベーションプランのこだわりや実現までの道のり等についてもご紹介させていただきます。是非お越しください。

(参考) 九州工業大学×UR 連携プロジェクト

<https://www.ur-net.go.jp/kyusyu/chintai/kyutech.html>



最優秀プラン イメージ

■ 国立大学法人九州工業大学

国立大学法人九州工業大学は、1909年の私立明治専門学校の開学に始まり、「技術に堪能なる士君子」(単に技術に精通するだけでなく道義心のある人格者)の養成を基本理念に数多くの技術者を輩出してきました。福岡県内の3キャンパス(2学部、3大学院)で約5700名の学生が学んでおり、近年では宇宙開発(教育機関における人工衛星の運用数が7年連続世界一位)や、ロボティクス(自律型ロボットの世界大会で6回優勝)など幅広い分野で成果を残しています。

<https://www.kyutech.ac.jp/>

■ 独立行政法人都市再生機構

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



学生
応援!

国立大学法人
九州工業大学

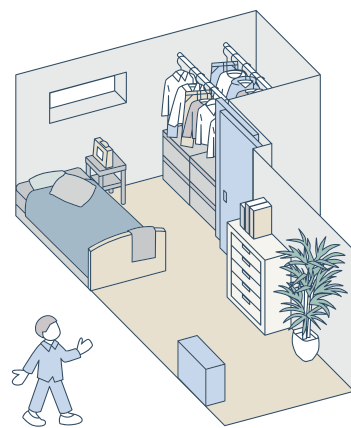


街に、ルネッサンス
UR 都市機構

九州工業大学×UR連携プロジェクト 第2回

住戸リノベーションコンペ

令和4年度に第1回が開催された住戸リノベーションコンペの第2回が開催。「到津南団地3DKに住む4人家族」をテーマに、学生たちがそれぞれ個性あふれる作品を提案しました。最終審査ではプレゼンテーションや審査員による質疑応答を実施し、ついに最優秀賞が決定しました。



プロジェクト
の流れ

01

6月12日
コンペ説明会

リノベーション工事費と家賃の関係を学ぶとともに、対象住戸などを見学。課題検証を行い、プランへのイメージを膨らませます。



今回の舞台は
北九州の
到津南団地!

02

7月3日・24日
プラン制作に係る相談会

学生の疑問や悩みを解決するため、UR職員との相談会を実施。数十年後まで活躍する住戸をつくるため、真剣に取り組んでいます。

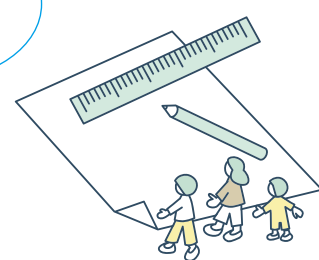


コストを
視野に入れて
設計すると...

こんな風に
作りたいの
ですが...

03

8月下旬
第一次審査



家族の気配を感じながら
一人ひとりが居心地良く
過ごせる空間です!

04

9月13日

コンペ結果発表!

～最終審査・結果発表会～

全18作品の中から最終審査へと進んだのは6作品。1人約5分のプレゼンテーションを行い、新規性・汎用性・コスト性の観点から審査が行われました。



最優秀賞

『離れて繋がって』
崎濱 安寿さん

私の
提案

間仕切り棚やカウンターを活用して空間を区切り、それぞれが思うままに過ごすことができる住まいを設計しました。



UR九州支社長より表彰

優秀賞(新規性部門)
『家族をつなぐまる』
村上 将大さん

私の
提案

中心部に円形のリビングダイニングを配置。隣接する他の部屋とつながりやすい空間に設計しました。

優秀賞(汎用性部門)
『わかちあい
-個室の「動詞化」による分散・共有-』
金丸 虹花さん

私の
提案

個室を設けず、やりたいことに合わせて「ひとりになれる空間」をあちこちに配置した住まいです。

優秀賞(コスト性部門)
『ダイニングアクセスの暮らし』
岩崎 園さん

私の
提案

玄関入ってすぐをダイニングに。必ず通ることで家族と過ごす時間を豊かにするレイアウトにしました。

奨励賞
『天袋の下で暮らす』
植崎 有祐さん

私の
提案

住戸中央と長手方向に天袋を渡し、大量の収納空間を実現。その下に多様な空間がある住まいです。

奨励賞
『柱と柱のあいだでつながる暮らし
～家族の形に寄り添い、使い方を考える提案～』
公文 ひかるさん

私の
提案

柱や梁を部屋に設け、間仕切りでレイアウトが変えられる住まい。ライフスタイルの変化に対応できます。



リモート参加

「九州工業大学×UR連携プロジェクト」とは?

URの団地をフィールドに学生の実践的な教育を行うとともに、新しい発想を取り入れ団地および地域の魅力を高めていくためのプロジェクトです。

R4 実施 沖台二丁目 住戸リノベーション



内装デザイン



住戸リノベーション相談会



施工キックオフ

学生による住戸リノベーションプランの提案をコンペ形式で実施しました。最優秀賞と優秀賞を受賞した2つのプランは、実際にUR賃貸住宅として商品化。令和5年3月に入居者募集を行い、全戸申し込みいただきました。

R5 実施 沖台二丁目 共用部の取り組み



外壁デザイン(完成イメージ)



外壁色彩の打ち合わせ



外壁色彩計画案の発表会

住戸のリノベーションだけでなく、学生による外壁色彩デザイン計画案を作成。UR九州支社としては初めての試みですが、実際に令和7年度の夏頃に外壁塗装が完成する予定です。

05

施工現場勉強会
(12月予定)



06

一般向け内覧会
(2025年2月予定)

完成を
楽しみに...!

URスタッフより

18作品どれも作り込まれた良いプランが多く、審査は難航しました。学生ならではの新しい発想や思いが形になっていたと思います。



営業推進課 飯塚



営業推進課 鳥飼

どの作品も短時間でよく試行錯誤されていて、すごく悩んだことが伝わってきました。相談会からたった2週間での成長にびっくりです。

これからも応援しています!!

STAFF'S VOICE

別紙 取材申込票

令和7年2月21日 九工大×UR 包括協定締結式
住戸リノベコンペ 2024 リノベ住戸完成内覧会

九州工業大学×UR連携プロジェクト 事務局宛

FAX:(092-722-1019)

※取材をご希望の場合は、令和7年2月18日(火)17 時迄にご連絡をお願いいたします。

※番号のお間違えにご注意ください。

・社名:

・媒体名:

・氏名:

・電話番号:

・E-mail:

・参加人数: